

お問い合わせ先

戦国屋指の知将

小早川隆景

ものがたり ⑤



三原城を築城し、現在の三原市の礎を築いた小早川隆景。広報みはら最終ページでは「小早川隆景ものがたり」を連載し、みなさんと一緒に隆景の生涯をたどりま。

小早川家の先祖

小早川家の先祖は土肥郷(現在の神奈川県足柄下郡湯河原町)を治めていた土肥実平です。

実平は鎌倉幕府を開いた源頼朝に付いて数々の合戦に出陣するなど、頼朝から厚く信頼された武将でした。

頼朝は領地を管理するための地頭を全国に置き、安芸国沼田(現在の沼田町)を実平の子・遠平に与えたことから、土肥家と三原との関わりが始まりました。

鎌倉幕府について記録した歴史書『吾妻鏡』によると、遠平は早河荘(現在の神奈川県小田原市)も治めていたらしく、箱根町の芦ノ湖から出て早川荘を流れる川の名前「早川」にちなみ、小

早川と名乗り始めました。

現在、実平ゆかりの地湯河原町には土肥一族の墓所があり、実平が建てたと伝わる城願寺、源頼朝やその家臣が身を潜めたとされるしどの窟などがあります。JR湯河原駅の前には土肥実平とその妻の銅像が建てられています。



▶ 実平と実平に寄り添う妻

源頼朝が戦に敗れたとき、身を潜めていたといわれるしどの窟



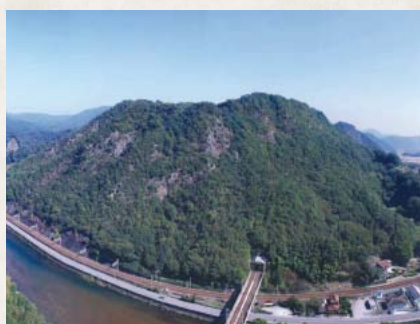
小早川家の本拠 高山城

小早川家4代・茂平は、沼田荘の中心部に位置する塔の岡(現在の本郷町)に屋敷を構え、その後の高山山頂を整備して高山城を築きました。

高山城は標高190メートルの山頂に築かれ、谷を挟んだ南北に石垣や土塁などが設置されていました。

小早川家は代々この城を受け継ぎ、天文21(1552)年に17代当主・隆景が沼田川の対岸に新高山城を築いて移るまでの間、高山城は小早川家の本拠で

した。城内には本丸や二の丸などのほか、尾根筋から登って来た敵を遮断するための堀、石垣や井戸の跡があります。



▲ 高山城内に残る石垣

高山城跡 ▶

参考文献

『三原市史 第二巻 通史編』
昭和52年
三原市役所 編集兼発行

文化課

☎0848-649234



瀬戸内三原
築城450年事業

三原市の人口(6月30日現在)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

世帯数	44,054 世帯 (-120)
人口	96,192 人 (-1,179)
男	46,083 人 (-544)
女	50,109 人 (-635)

人口移動の詳細については
広島県 人口移動 月報 で
検索

税などの納期(普通徴収)

- 市県民税(第2期)
 - 国民健康保険税(第2期)
 - 介護保険料(第2期)
 - 後期高齢者医療保険料(第2期)
- 納期限 31日(木)まで
夜間収納窓口(19時まで)
毎週木曜日

航空機の騒音測定結果(6月分)(Lden)

- ▶正広局(本郷町善入寺正広)=49.7
- ▶本郷局(本郷町船木川西上)=53.1

あ・と・が・き
二 三原市内で全ての撮影が行われた映画「やっさたるマン」。映画で三原を盛り上げようと結成された市民グループ「三原映画をつくる会」のメンバーや市民エキストラの皆さんなど多くの人の協力で無事にクランクアップしました。▼撮影終了後に、監督の大森研一さんに話を伺うと、撮影を全て地方で行うことはあまり無いそう、今回の撮影を実現するには市民の皆さんの力が必要不可欠だったと言われていました。▼三原の人や風景などが映画として残るのは嬉しいものです。私も三原の人や風景を広報誌で残せるよう頑張ります(F)